



FUJISOFT

みらいスクールステーション®

大型提示装置の活用がぐんと広がる

機器構成	教材コンテンツ視聴	タブレット授業支援	校内ライブ放送	電子掲示板
メディアボックス	●	△ ※2	●	●
大型提示装置 ※1	●	△ ※2	●	●
校内LAN	●	●	●	●
配信サーバー	●	●	●	●
無線LANアクセスポイント	-	△	-	△ ※4
タブレットPC ※1	-	●	-	△ ※4
映像変換用PC ※3	-	-	●	-
情報発信用PC ※1 ※3	-	-	-	●
コンテンツ登録用PC ※1 ※3	●	●	-	-
ビデオカメラ ※1	-	-	-	-
ビデオキャプチャユニット	-	-	●	-

動作環境	
教材コンテンツ視聴	
再生可能なファイル形式 ※5	
動画	.3gp / .asf / .avi / .m2ts / .mkv / .mts / .mov / .mp4 / .mpeg / .mpg / .ts / .vob / .wmv / .webm
音声	.m4a / .mp3 / .wav / .wma / .flac / .mid
画像	.bmp / .gif / .jpeg / .jpg / .png / .webp
文書	.pdf
web	.url / .website
Microsoft Office ※6	.docx / .xls / .pptx
ディスプレイモニター ※7	
対応OS	Windows10 64bit
CPU	Intel Core m3 以上 ※8
メモリ	4GB 以上
ご利用のOSが推奨する環境以上	
大型提示装置	
デジタルテレビ	HDMI入力対応のデジタルテレビ ※9 またはRCA入力対応のテレビ ※10
プロジェクター	HDMIまたはRCA入力対応プロジェクター ※10 ※11
コンテンツ登録用PC	
対応OS	Windows / Mac OS X
CPU	ご利用のOSが推奨する環境以上
メモリ	
配信サーバー	
CPU	Celeron J1900 2GHz 4C CPU
メモリ	8.00GB 以上
RAID方式	
ハードウェアRAID	*メーカーが、Red Hat Enterprise Linux 7系(x86_64) 又は CentOS 7系(x86_64) をサポート / 動作保証しているRAIDコントローラーでRAID構築されていること
ハードディスク容量	1TB 以上 (コンテンツ保存用空き領域含む)
その他の機能	
タッチパネル連携	タッチ入力機能を持つ電子黒板やプロジェクターと連携し、大型画面に直接書き込みなど直感的な操作を行います。 ※対応機種は別途お問い合わせ下さい。
大型提示装置の操作	メディアボックスのリモコンで他社製大型提示装置の基本的な操作もできます。 ※対応機種は別途お問い合わせください
外部ストレージ利用	メディアボックス本体のUSBポート/SDカードスロットを利用し、外部ストレージに保存されたコンテンツを表示できます。USB3.0/USB2.1、SD/SDHCカードに対応しています。

タブレット授業支援	
再生可能なファイル形式 ※5	
動画	3g2 / 3gp / m4v / mp4
音声	mp3 / wav
画像	bmp / jpeg / jpg / png
文書	pdf
Microsoft Office ※12	doc / docx / xls / xlsx / ppt / pptx
大型提示装置	
デジタルテレビ	HDMI入力対応のデジタルテレビ ※9 またはRCA入力対応のテレビ ※10
プロジェクター	HDMIまたはRCA入力対応プロジェクター ※10 ※11
タブレットPC	
OS	教員用 ※13 Windows8.1 以上 児童/生徒用 iOS11.x 以上 教員/児童/生徒用 Android4.2 以上
CPU	[必須] Intel Atom Z3795 64bit 1.6GHz 4コア 相当以上 [推奨] Intel Core i5-4300U 64bit 1.9GHz 2コア 相当以上 [必須] Intel Atom Z2760 32bit 1.80GHz 2コア 相当以上 [推奨] Intel Atom Z3795 64bit 1.6GHz 4コア 相当以上 [必須] Apple A6X 2コア 1.4GHz (iPad4) 以上 [推奨] Apple A7 2コア 1.4GHz 64ビットアーキテクチャ (iPad Air) 以上 [推奨] 1.8GHz 4コア 相当以上 [推奨] 2.2GHz 4コア 相当以上
メモリ	[必須] 2GB 以上 [推奨] 1GB 以上
必要ストレージ容量 (キャッシュ領域含む)	110MB 以上
ネットワーク	無線LAN IEEE802.11n 5GHz (推奨)
画面サイズ	2560 × 1600 ~ 1280 × 800
コンテンツ登録用PC	
OS	Windows8.1 以上
必要ストレージ容量	90MB 以上
Webブラウザ	Internet Explorer 11 / Google Chrome 最新版
その他動作に必要なソフトウェア ※14	Microsoft .NET Framework 4.6.2 Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable Package
配信サーバー	
CPU	Celeron J1900 2GHz 4C CPU
メモリ	8.00GB 以上
RAID方式	
ハードウェアRAID	*メーカーが、Red Hat Enterprise Linux 7系(x86_64) 又は CentOS 7系(x86_64) をサポート / 動作保証しているRAIDコントローラーでRAID構築されていること
ハードディスク容量	1TB 以上 (コンテンツ保存用空き領域含む)

校内ライブ放送	
デジタルテレビ	HDMI入力対応のデジタルテレビ ※9 またはRCA入力対応のテレビ ※10
プロジェクター	HDMIまたはRCA入力対応プロジェクター ※10 ※11
映像変換用PC	
OS	Windows10 Pro 64bit
CPU	Intel Core i5-6200U 相当以上
メモリ	8.00GB 以上
GPU	Intel HD Graphics 3000 相当以上
入出力インターフェース	USB3.0ポート × 1 (必須)
配信サーバー	
CPU	Celeron J1900 2GHz 4C CPU
メモリ	8.00GB 以上
ハードディスク容量	1TB 以上 (コンテンツ保存用空き領域含む)
ビデオカメラ	
出力インターフェース	映像出力端子 (必須) ※15

電子掲示板	
デジタルテレビ	HDMI入力対応のデジタルテレビ ※9 またはRCA入力対応のテレビ ※10
プロジェクター	HDMIまたはRCA入力対応プロジェクター ※10 ※11
情報発信用PC	
OS	Windows / iOS
推奨Webブラウザ	Internet Explorer 11 以上 / Google Chrome 最新版 / Safari 最新版 / Edge 最新版
配信サーバー	
CPU	Celeron J1900 2GHz 4C CPU
メモリ	8.00GB 以上
ハードディスク容量	1TB 以上 (コンテンツ保存用空き領域含む)
オプション機能	
外部機器連動	防災などの緊急的な情報に関する受信機器と連動し、視聴覚機器にわかりやすく表示させます。J-ALERT受信機、火災等報知器、IP-PBX、パライトなどの各種警報受信装置・発報装置・表示装置との連携が可能です。(各構成機器は、各メーカー製品で仕様異なる、弊社提供範囲外となるため、別途ご相談となります。)

各種サポートプラン	
メディアボックス機器保証 (無償)	新規でご購入されたメディアボックスにはご購入時から1年間有効な無償機器保証が付属します。
メディアボックス機器保証 (有償)	新規でご購入されたメディアボックスの無償機器保証を3年間もしくは5年間に延長して付属します。
ヘルプデスク電話サポート	お客様からのご質問に対して、弊社サポートが電話・メールにてご相談に応じます。

- ※1 各動作条件を満たしていれば、既にお持ちの機器でご利用いただけます。
- ※2 タブレットに表示している教材コンテンツをテレビやプロジェクター等大型提示装置にも連動して表示させる場合は必須となります。タブレット授業支援機能自体はタブレットPCのみでもご利用可能です。
- ※3 映像変換用、情報発信用、コンテンツ登録用の各PCは、それぞれ動作条件を満たしていれば兼用が可能です。
- ※4 電子掲示板機能の情報発信操作は情報発信用PCから行いますが、タブレットPCと無線LANアクセスポイントを利用することで校内のどこからでも発信操作が可能になります。
- ※5 コーディング等によっては再生可能なファイル形式でも正常に再生されない場合があります。
- ※6 Microsoft Office 2003以前の形式(doc, xls, ppt)は対応しておりません。旧形式のコンテンツをご利用の場合は予めファイル形式を変更する必要があります。Microsoft社によるAndroid用 Microsoft Office モバイルアプリ (Kitkat およびLollipop デバイス) のサポートは、2019年6月で終了します。
- ※7 正常にミラーリングを行うにはタブレットをメディアボックスと同一セグメントのネットワークに接続する必要があります。
- ※8 Windows端末はWDDM1.3以降対応必須。CPUはIntel Quick Sync Video対応のHaswell以降を必須。
- ※9 メディアボックスのテレビ電源連動機能をご利用の場合はHDMI1.3以上でHDMI-CEC機能対応がテレビの必須条件となります。
- ※10 要件を満たす全ての機種で動作を保障するものではありません。
- ※11 メディアボックスのプロジェクター電源連動機能をご利用の場合は、PJLink対応のプロジェクターが必須条件となります。
- ※12 タブレット授業支援機能では、Microsoft Office形式のファイルはPDFに変換してタブレットに表示されるため、アニメーション等は表現できません。
- ※13 教員用端末に連動する児童/生徒端末数が40台の場合、連動させる児童/生徒端末数に応じて教員端末の要求スペックは異なります。
- ※14 動作に必要なソフトウェアが不足している場合、自動で追加インストールされます。
- ※15 ご利用のビデオカメラの機種によっては、映像入出力端子からHDMI端子またはRCA端子への変換ケーブルが別途必要となる場合があります。

※各種仕様やデザイン等は今後変更する可能性があります。 ※みらいスクールステーションは富士ソフト株式会社の登録商標です。 ※HDMIおよびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。 ※WindowsおよびMicrosoft Officeは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における商標または登録商標です。 ※Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。 ※iOS、iPad、およびMac OS Xは、Apple Inc.の商標または登録商標です。 ※パライトは株式会社パライトの商標または登録商標です。 ※その他記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。



富士ソフト株式会社 www.fsi.co.jp

みらいスクール専用ダイヤル 0120-964-529 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝を除く)



お問い合わせ

開発元

プロダクト事業本部 みらいスクール事業部
〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町4-34
TEL : 050-3000-2781 FAX : 045-650-8866
E-mail : support_kyoikuic@fsi.co.jp

みらスク

検索



※本カタログに記載の内容および製品・サービスの仕様は、予告なく変更する場合があります。
※本カタログに記載の内容および製品・サービスの仕様は、2019年5月現在の情報です。

毎日使われる教育ICT。みらいスクールステーション



教室のノートパソコンに代わる リモコンで使える「教育ICT専用端末」

メディアボックスは、「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針(文部科学省、第5-2)」
 「常設」を前提としたICT機器等については、スイッチ一つですぐに起動できる」に準拠する端末です。



◆5つの特長

- ① 大型提示装置と校内LANにつないで常設。機器の持込み・接続の手間いらず
- ② たった3秒で起動、家電感覚で使えるリモコン操作。授業に適した利便性
- ③ 電子黒板、タブレット、書画カメラと連携可。授業の幅が広がる
- ④ メディアボックスは、メンテナンスフリー。安心・安全で手間のかからない運用を実現
- ⑤ 1つのシステムで「授業と情報配信」、「平常時と緊急時」の幅広い活用シーンに対応



メディアボックス

みらいスクールステーションは、デジタルコンテンツを活用した

「わかりやすい授業」を「かんたん」に実現し、
 子どもの「わかった!」を引き出すソリューションです。
 必要なときに、誰もが、すぐ使える。
 大切な情報を、瞬時に伝えられる。21世紀を生きる
 子どもたちの学びにふさわしいICT環境。
 それは、決して特別なものではなく、
 毎日のように使えるものであると、私たちは考えています。



「授業準備・進行」「校内情報連絡」の効率化を支援する多彩な用途

みらいスクールステーションは、4つの機能で、先生方の負担を軽減します。

授業 に 活用	 教材コンテンツ視聴 <small>リモコン操作やタブレット画面転送でデジタル教材提示</small>	... P3~P4
	 タブレット授業支援 <small>複数のタブレットを用いた授業支援システム</small>	
情報配信 に 活用	 校内ライブ放送 <small>ビデオカメラの映像をリアルタイムに配信</small>	... P5~P6
	 電子掲示板 <small>大切なお知らせを校内に一斉配信</small>	

先生が負担なく、スムーズでわかりやすい授業を実現する教育ICT

教室の大型提示装置とつなぐのは、メディアボックスのみというシンプル構成。ノートパソコンでは成しえなかった、授業に適したICTの利便性を追求しました。従来のICT機器の持ち込みや接続の手間、起動にかかる待機時間を取り除き、先生の負担軽減と子どもたちに向き合う時間を創出します。リモコン操作の教材提示により、スムーズでわかりやすい授業をサポートします。

リモコンでポチッとパッと教材提示

教材コンテンツ視聴

授業で用いる教材データは、配信サーバーに格納。どの教室からもリモコン操作によって視聴できます。USBメモリやSDカード内の教材も提示できます。

◆3つのポイント

- 1 起動までたった3秒。すぐ授業に入れる
- 2 家電感覚で使える、らくらくリモコン操作
- 3 タブレット画面転送機能も実装



さまざまな形式の教材提示に対応

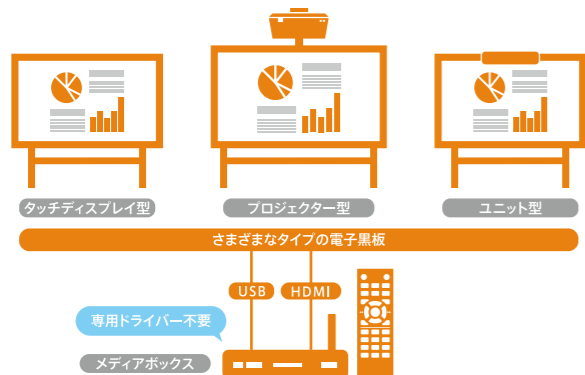
パワーポイント等のオフィスファイルやデジタル教科書など様々な形式の教材提示に対応。有線LANを使用するため、容量の大きい動画再生もスムーズで授業が滞りません。



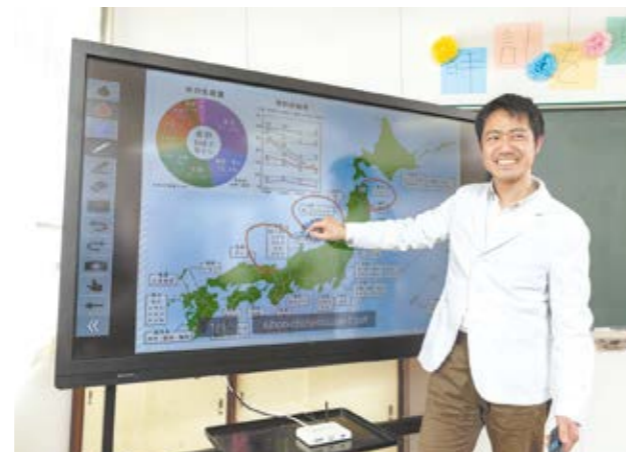
ペンツールで書き込んで画面保存

電子黒板
連携パック

パソコンいらずの電子黒板連携パックです。標準搭載のペンツールと電子黒板との連携により、画面の上に書き込みができます。さらに、ワンタッチで表示画面の保存ができます。
※対応機種については、別途お問い合わせください。



らくらくリモコン操作で教材提示



提示した教材に書き込む

3つの導入メリット

授業準備にかかる
時間・手間の削減

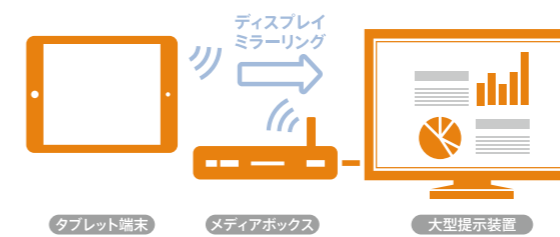
メンテナンスフリー。
更新・運用の手間いらず

ICT利用率アップ。
効果的な設備投資

タブレットの活用でさらに広がるICT活用授業

タブレット1台で授業

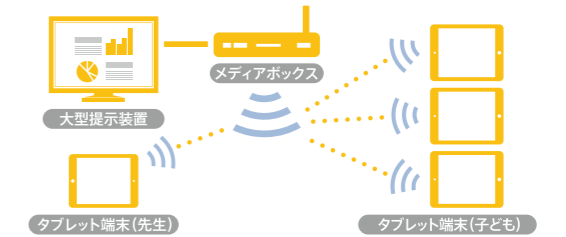
メディアボックスに、タブレット画面転送機能を標準搭載。指導者用デジタル教科書など、タブレットの画面に表示している教材を画面転送し、大型提示装置に大きく映し出します。



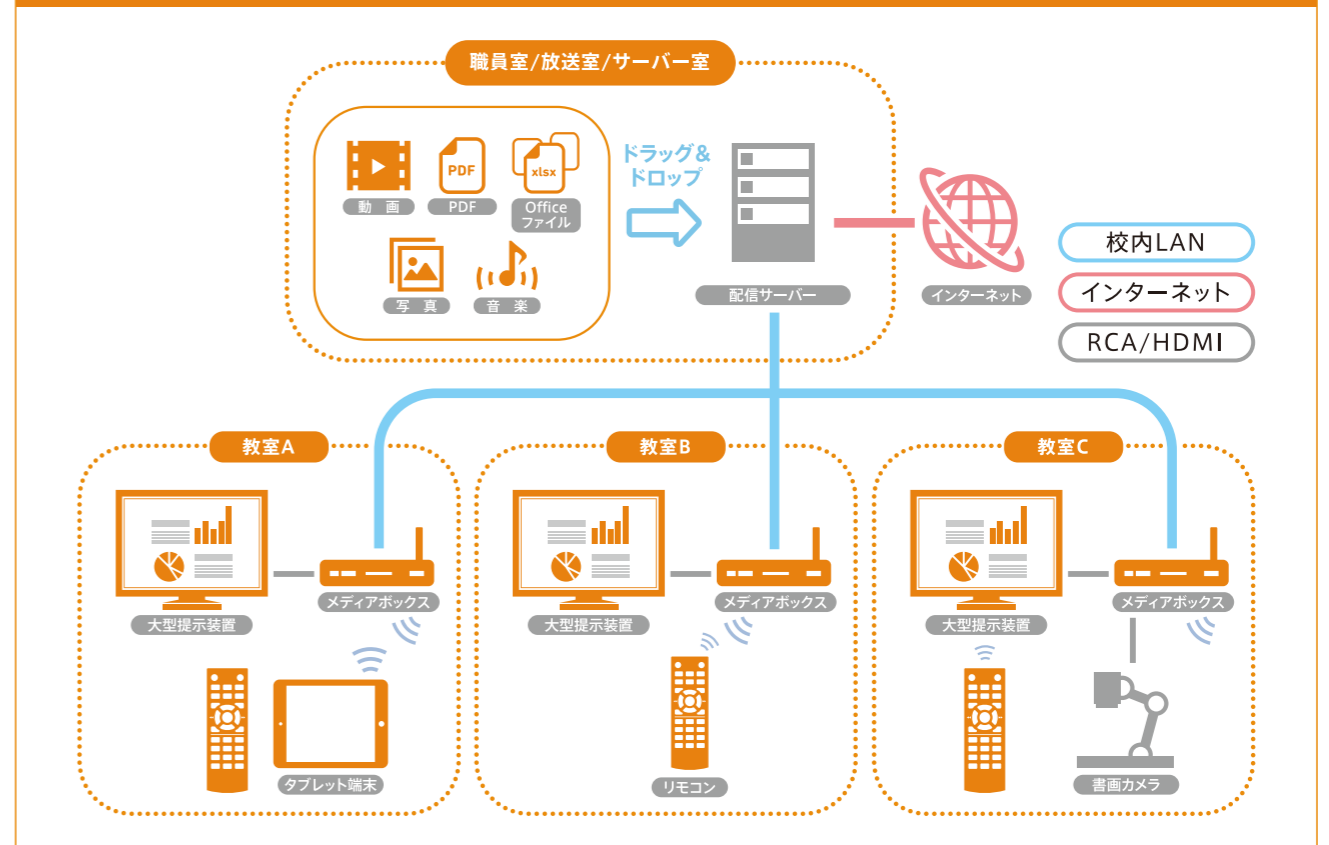
タブレット複数台で授業

タブレット授業支援

教材の一斉配布や回収、解答を比較表示するなど、先生と子どもによる双方向型の授業が実現します。



機器構成例



大型提示装置と校内LANを活用する 情報配信システム

校内LANを介して、各教室のメディアボックスにカメラ映像やお知らせを一斉配信。
 日常の連絡手段のほか、学校行事、いざという時の緊急連絡まで幅広いシーンでご利用いただけます。
 1つのシステムで授業と校内連絡の両方に対応しているため、コストを抑えた効率的な施設整備に最適です。

カメラ映像を校内にライブ配信

校内ライブ放送

ビデオカメラの映像を各教室にライブ配信します。
 音声放送にはない、視覚的な放送が実現します。

3つのポイント

- 1 校内LANにつながれば、どの場所からでも配信できる
- 2 テロップ追加、配信先指定、同時録画に対応
- 3 大型提示装置の電源までも一元管理

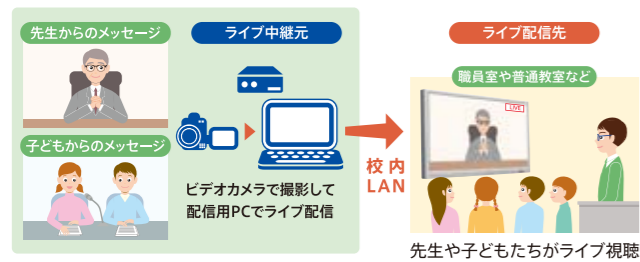


さまざまなシーンで活用

熱中症や
 集団感染症の
 対策にも

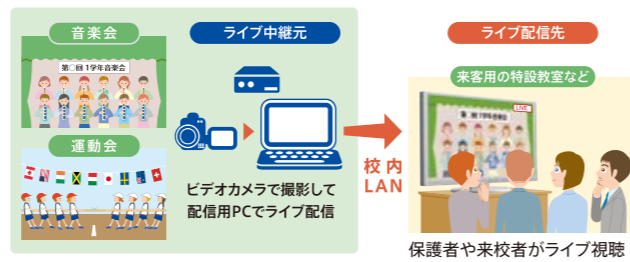
日常シーンで活用

お昼の放送、全校集会、新任教員の挨拶や生徒会による
 政見放送、委員会からのお知らせに利用できます。

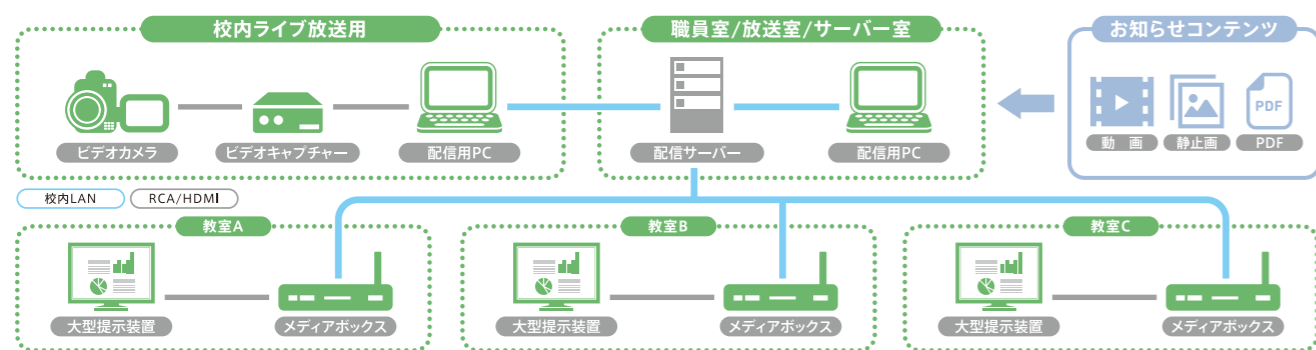


学校行事で活用

音楽会や文化祭、運動会など学校行事の際に、
 来客用特設教室へのイベント中継などに利用できます。



機器構成例



3つの 導入メリット

聞き逃しを抑制。
 視覚的な情報伝達

一斉配信による、
 連絡事務の負担軽減

緊急時にICTを
 有効活用

連絡事項を校内に一斉配信

電子掲示板

大切なお知らせを一斉配信・自動表示します。在校生や職員、
 来客者に向けた様々な情報連絡に活用いただけます。

3つのポイント

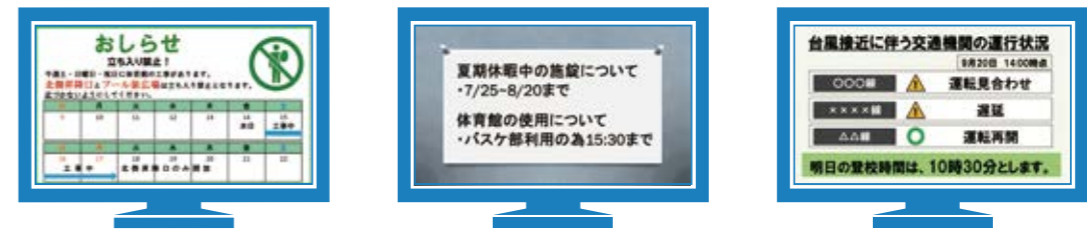
- 1 文字情報に加え、動画や画像でも配信できる
- 2 配信先指定、スケジュール予約配信に対応
- 3 電源ON/OFFも一元管理。教室では電源操作不要



さまざまなシーンで活用

日常シーンで活用

日常連絡や業務連絡。学校案内や交通情報の配信まで、用途は無限大。豊富な文字入力テンプレートに加え、
 動画や画像で大切なお知らせを視覚的に一斉配信できます。



複数の
 コンテンツも
 順番に
 配信可能

防災設備として活用

※別途カスタマイズが必要となります。

教育用ICTシステムを避難所運営にもご利用いただけます。
 気象庁の「緊急地震速報」や消防庁の「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」と
 連動して緊急情報を自動配信。いざという時に役立ちます。
 学校が避難所となる際には、配給情報や安否情報等、避難者への一斉配信により、
 情報の聞き逃しや見落とし、運営管理者の負担を軽減します。

